

おもしろ社会②②（歴史編）



室町時代（1）

問題 南北朝時代～室町時代について、（ ）に合う語句を□から選んで書きましょう。

北条氏の独裁と、「御恩と奉公」の崩壊により、元寇をきっかけに鎌倉幕府は、御家人からの信頼を失っていきました。これを好機とみて、倒幕に動き出したのが、（ア ）天皇です。はじめ、倒幕計画がもれて、天皇は隠岐（島根県の島）に流されますが、隠岐を脱出し、足利尊氏や新田義貞の協力により、1333年、鎌倉幕府を滅ぼすことに成功しました。この後、天皇による政治が始まります。これを（イ ）といいます。

しかし、天皇の新しい政策には、多くの御家人たちが不満をもちました。一方で、御家人たちの支持を集めたのが、足利尊氏です。やがて戦となり、天皇が頼りにしていた新田義貞と（ウ ）が戦死し劣勢になった天皇は吉野（奈良県）に逃れ、そこで政治を行います。一方の尊氏は、京都で新たな天皇を即位させました。ここに2つの朝廷ができました。この時代を（エ ）時代とよんでいます。尊氏は、京都の天皇から（オ ）に任じられ、京都に幕府を開きます。これが（カ ）幕府です。

幕府の第3代将軍（キ ）のころ、幕府の権力は最も強まり、吉野の天皇が京都の天皇の位をゆずったことで、1392年、ここに南北朝が合一しました。

安定した室町幕府の政権も、1467年に起こる（ク ）より後は、大いに世の中が乱れ、いよいよ戦国時代の戦乱が始まりました。

足利義満

室町

南北朝

おうにん
応仁の乱

くすのきまさしげ
楠木正成

けんむ
建武の新政

征夷大將軍

太政大臣

ごだいご
後醍醐

じょうきゅう
承久の乱

ご と ば
後鳥羽

足利義政

答え

問題 南北朝時代～室町時代について、()に合う語句を□から選んで書きましょう。

北条氏の独裁と、「御恩と奉公」の崩壊により、元寇をきっかけに鎌倉幕府は、御家人からの信頼を失っていきました。これを好機とみて、倒幕に動き出したのが、(ア ごだいご 後醍醐) 天皇です。はじめ、倒幕計画がもれて、天皇は隠岐(島根県の島)に流されますが、隠岐を脱出し、あしかがたかうじ 足利尊氏や にったよしさだ 新田義貞の協力により、1333年、鎌倉幕府を滅ぼすことに成功しました。この後、天皇による政治が始まります。これを(イ けんむ 建武の新政)といいます。

しかし、天皇の新しい政策には、多くの御家人たちが不満をもちました。一方で、御家人たちの支持を集めたのが、足利尊氏です。やがて戦となり、天皇が頼りにしていた新田義貞と(ウ くすのきまさしげ 楠木正成)が戦死し れっせい 劣勢になった天皇は吉野(奈良県)に逃れ、そこで政治を行います。一方の尊氏は、京都で新たな天皇を そくい 即位させました。ここに2つの朝廷ができました。この時代を(エ なんぺい 南北朝)時代とよんでいます。尊氏は、京都の天皇から(オ せいらい 征夷大將軍)に任じられ、京都に幕府を開きます。これが(カ むらまち 室町)幕府です。

幕府の第3代将軍(キ あしながたかひさ 足利義満)のころ、幕府の権力は最も強まり、吉野の天皇が京都の天皇の位をゆずったことで、1392年、ここに南北朝が合一しました。

安定した室町幕府の政権も、1467年に起こる(ク おうにん 応仁の乱)より後は、大いに世の中が乱れ、いよいよ戦国時代の戦乱が始まりました。

足利義満

室町

南北朝

おうにん
応仁の乱

くすのきまさしげ
楠木正成

けんむ
建武の新政

征夷大將軍

太政大臣

ごだいご
後醍醐

じょうきゆう
承久の乱

ご と ば
後鳥羽

足利義政